

## 2017年8月27日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

賛 美 讃美歌463番 「ささやかなるしずくすら」  
(主の山に備えあり)(主がここにおられます)

使徒信条

聖 書 ①ヨハネによる福音書 11章38～45節 (p159)

②マタイによる福音書 6章1～8節 (p7)

音 楽 青年会

証 詞 大谷櫻子姉(ドルカス会)

メッセージ ①「喜怒哀楽を感じる神」 坪井永城副牧師

②「報いてくださる神様」 大塚信頼牧師

賛 美 「Never Worry」(献金)

頌 栄 「天にも地にも」アーメン

祝 禱

(マタイ六の四)

「報いてくださるであらう。」

「すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、」

### 【町田ニュース】

- ・ [国際飢餓対策への募金](#)を集めます。前の箱へ。祝福を祈ります。
- ・ 火曜日、[早天祈祷会](#)で大塚師が説教。お祈りください。
- ・ 今週も祈祷会を大切に(Y)。水曜夜7時半は梅津伝道師、木曜10時半は久保田伝道師、金曜夜9時は丸藤伝道師。
- ・ 土曜日、午後4時半より[祈り会](#)。祈りは力です。
- ・ 来週、[ビジョンミーティング](#)、[弟子学校](#)あり(オープンセル実行 I 2と3 予習)
- ・ 9月5日(火)10時「[ほっとママの会](#)」
- ・ 「[大川牧師夫妻と共に行くローマとイスラエルの旅](#)」を計画されました。来年3月20～30日。申し込み開始。定員もあるので全員参加できるかは未定。
- ・ 毎日、通読表(聖務表)に従い、Q.T.をしましょう。



## 畑の中の宝物

「ピーマンはママも嫌いになる高値」 (よみうり時事川柳)

今年8月の長雨により野菜が不作のため高騰しています。8月31日は「野菜の日」。新聞の小枠に載っていた記事です。

「トマトはどうして赤くなるの？真っ赤に色づくのは動物に見つけて食べてもらうため。種を運んでもらって、別の場所でも子孫を残そうとしているのよ。」

「玉ねぎを切るとどうして涙が出るの？玉ねぎは虫から身を守るために、刺激物質を出す技を持っているんだ。この刺激で人間でもなかせてしまうんだ。」

野菜には子孫を増やすため、虫を寄せたり、身を守る工夫がされています。

シオン幼稚園のモットーは「神と人と土を愛す」。今年は春から夏にかけて初めて牧師館で畑を作り、植物や野菜を育ててみました。やって良かったことは、自然(土や植物、虫)が苦手だった私も自然に親しめたこと。苦労してまで自分で育てる人の気持ちが変わったこと、野菜の成長は土次第であること。それぞれの植物が水や光、土からの栄養で、成長しては咲かせ実を結ぶという創造の神秘さ、日ごとに成長しては収穫する楽しみ、雑草の繁殖力・成長力のたくましさ、裏の畑をしている方々との関係作り、農業に目が広かれたこと…等々。私も畑作業を通し、随分世界が広がりました。

やって驚かされた点は、野菜には病気と害虫がつきものだということです。キュウリは途中までよくなっていたのにウドンコ病のため枯れ、トマトはアブラムシとオンシツコナジラミが発生し葉が丸まり、そうでなくても8月の雨で実が割れてしまい食べられなくなりました。カボチャもウリハムシに花まで食べられ、見事に並んで咲いていたヒマワリは、ハダコのために下の葉から黒枯れ…ショック。

考えてみれば、美味しいのですから病気や虫がよってくるのは当然なことです。農薬の必要性や無農薬野菜の難かしさ、そのための工夫・努力を思わせられました。農作物は毎日見回り、早期発見・早期対策が必要なのです。

人の心も同じです。豊かな実を結ぶため、毎週日曜は礼拝を通して、旧・新約(葉)によって心のずれを直していただきます。「油断することなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。」(箴言4章23節)

大塚信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース: I コリント8章～12章 Bコース: 詩篇132篇～箴言2章